

# ひとを育てる活動

## 奨学生 60 名の現況報告が届きました

奨学生モニター系のロウエルさんが体調を崩し、予定より 1 カ月遅れて報告がきました。ロウエルさんには、奨学生が在籍する小学校、ハイスクール 25 校を回ることに、カレッジ生の住み込み先や学生アパートを訪ねるといったハードな外回りの仕事をしてもらっています。以前はボランティアで CMIP 担当神父の助手をしていましたが、2 年前から、HANDS 支給の月額 4000 ペソで、奨学生担当として働いています。言葉少ないけれど、労をいとわないロウエルさんには、これからも健康に気をつけてがんばってほしいと思います。



奨学生から託された手紙を持つロウエルさん

## ミアソン寮を出て、自宅や親類宅に近い学校に転校

前号で、父母が交代で寮母役を務めることになったと報告したミアソン寮ですが、当番制とはいえ、家から 1-2 時間の距離にあるミアソン寮に泊って世話をするのは大変で、監督者が不在の日もあります。

今回の報告で、サムラング出身の 3 名はすでに寮を出て、隣村のバリオビラン公立校に転校したことが分かりました。ミアソン寮に残っているのはアトモロックからの 5 名です。昨年度末は、土地を巡る紛争の影響もあって、この 5 名は学年末試験を受けていなくて、現況報告の成績欄は空白のままです。

ミアソン寮は、北海道の中田さんのご寄付により、2001 年度に HANDS が建設支援をしたものです。以降、多くの子どもたちが、寮から徒歩 5 分の JD エスコビヨ公立ハイスクールに通い、卒業しました。アトモロックの他にも、学校が遠くて通えない地域のハイスクール生のニーズがまだあるなら、継続維持したい就学拠点です。

11 月中旬の訪問時に訪ねて、寮生の話も聞いてみたいと思っています。

## ナブル・カマガヤ小の 2 教室が完成！ 教室増築にご協力ありがとうございました

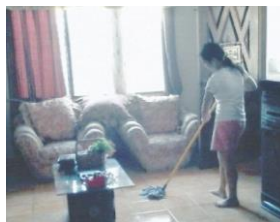


開校から 5 年目、1-6 年生まで約 300 名が学ぶ学校に、新たに 2 教室が完成、6 教室になりました。あとは手前の崖に設置するフェンス工事を残すのみです。

5 年前まで、近くに学校がなかったナブルでは、写真のアイリーンのように、16 歳で小学校 3 年という子どもも在籍しています。アイリーンは成績は 78% と「もっと頑張りましょう」レベルですが、とても親切で同級生には、お姉さんと慕われているそうです。



## 家事手伝いで下宿代免除 —カレッジ奨学生近況—



医学部進学をめざすジェニーは、下宿先の配慮で、学習時間を十分取ることができています。担任のコメント：学習面のみならず、すべてに向上心がみられる

ジェニーと同じオカット氏宅で、家事手伝いをしている教育学部 4 年のマリーグレイス（写真右）。ノビシエイト寮時代から重宝がられた料理の腕を生かして喜ばれています。担任のコメント：無遅刻、無欠席で、教師、級友との関係も良好



## 2 度と留年はできないし、家族も助けたいし・・・

— ダバオ医大に学ぶアンの逡巡 —

「医者になるのは本当に大変です。努力、時間、忍耐力、そしてお金です。」という書き出しで、バイク事故で鎖骨を痛めた父親の医療費工面のため、家庭教師をしたいが・・・と、メールで助言を求めてきたアン。

授業料と教科書代は宮崎さん支援の HANDS 奨学金で、生活費は町の奨学金を充当、不足分は両親が負担していますが、家族に怪我人、病人が出るとすぐバランスが崩れるのが奨学生の常です。まず学び、あとで返済をと、支援者等からお金を借りる方法を勧めました。

## JOFPA 奨学金受給者（看護師コース在学学生）近況

週末は、PIHS による村のヘルス活動に積極的に参加しているモナリサの問題は、月 600 ペソ値上げしても、まだ奨学金だけでは足りないことです。前号で報告のように、不足分は暫定的に追加支援をしていますが、母親の魚の行商が軌道にのれば家族で支えることになっています。学業についてナプサさんに聞いたところ、今年は頑張っていますとのことでした。なお、今年の新奨学生 2 名については、次号で報告させていただきます。